

# 道のエコミュージアム

宇津ノ谷地区には、明治、大正、昭和、平成の4本のトンネルがあります。明治から各時代のトンネルが現存し通行できるのは、全国でここだけです。

また、鶯の細道、旧東海道と併せ、道路の歴史や土木遺産を学ぶことができる「道のエコミュージアム」となっています。「道の駅 宇津ノ谷峠情報館」には解説もあります。散策時に、ぜひ、立ち寄ってみてください。



全国でここだけ!



大正のトンネル



昭和のトンネル (国道1号上り)



平成のトンネル (国道1号下り)

道の駅「宇津ノ谷峠」(上り側)

明治のトンネルができてから約140年、利用者は時代の流れと共に人や馬から自動車へと変化し、利用者も増加、より大きなトンネルが必要となりました。同じように、トンネル技術も進歩し、掘り方は人力から機械へと変化し、大きな断面のトンネルを安全に掘ることができるようになりました。各時代のトンネルを通りながら、道の歴史を体感してみてください。

## 旧東海道の面影を残す宇津ノ谷地区

宇津ノ谷地区は、旧東海道の面影を残す美しい家並みで、落ち着いた雰囲気があります。静岡市の「美しいまちづくり推進地区」に指定され、平成17年度都市景観大賞「美しいまちなみ賞」優秀賞を受賞しました。旅人を泊めた旅籠の造りの家が多く残されています。各戸の屋号に注目! また、お食事処や甘味処などもあります。ぜひ地区内を散策して宇津ノ谷のぬくもりを感じてみてください。

「道の駅 宇津ノ谷峠」では、宇津ノ谷峠の歴史や観光、交通情報を案内しています。特産品やお食事処、休憩スペースもあるので、ぜひご利用下さい。電気自動車用急速充電器やWi-Fiもありますよ。



ここから宇津ノ谷地区へ



宇津ノ谷地区の家並み



道の駅「宇津ノ谷峠」(下り側)

しずみち散歩 女性ワーキンググループ  
 静岡市建設局道路部道路計画課  
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 電話 054-221-1239

平成28年4月

静岡  
ドボジョ  
が行く!

しずみち散歩

# 宇津ノ谷峠 明治のトンネル編

今回の静岡  
ドボジョ



### 見学時のオススメ

トンネル内は照明はありますが懐中電灯があると新しい発見があるかも...。宇津ノ谷地区は坂道が多いので歩きやすい靴がおすすめです。冬は防寒着必須。



### 宇津ノ谷地区へのアクセス

- 車** 【静岡方面から】 国道1号を藤枝方面へ、「道の駅 宇津ノ谷峠」を左折、国道1号陸橋を渡る  
 【藤枝方面から】 国道1号を静岡方面へ、宇津ノ谷トンネルを抜けた直後を左折、明治のトンネル 静岡市駿河区宇津ノ谷 駐車場(静岡側) : 3台
- バス** 【静岡方面から】 静鉄バス「中部国道線」藤枝駅行「宇津ノ谷入口」下車 歩道橋を渡る 徒歩5分  
 【藤枝方面から】 静鉄バス「中部国道線」新静岡行「宇津ノ谷入口」下車 徒歩5分





# さあ、明治時代へ"しずみち散歩"に出かけよう

明治のトンネル「宇津ノ谷隧道」は、静岡市と藤枝市の境、宇津ノ谷峠にあり、平成9年に現役のトンネルとしては日本で初めて国の登録有形文化財となりました。その昔、東海道宇津ノ谷峠は交通の難所であったため、交通を円滑にするための新たな取り組みとしてトンネルが造られました。当時の技術でトンネルを掘るのは一苦勞、明治7年から2年の歳月と延べ15万人もの人力をかけ完成しました。その後火災により崩れたため、数年間閉鎖されていましたが、明治36年から改修工事が行われ、現在のレンガ積みトンネルに生まれ変わりました。平成8年に行われた2度目の改修では、トンネルの補強や照明がつけられました。明治のトンネルには、文化財としての価値を保ちながら未来へつなげていくための工夫と、時代を越えた土木技術者の思いがたくさん詰まっています。その足跡を、ぜひ、体感してみてくださいね。

## 概要

名前	宇津ノ谷隧道		
長さ	203m	幅	4.0m
高さ	3.9m		
明治7年5月	1874年	着手	
明治9年6月	1876年	完成	
明治29年	1896年	火災	
明治36年3月	1903年	改修着手	
明治37年5月	1904年	改修完成	
平成8年4月	1996年	改修着手	
平成9年5月	1997年	登録有形文化財	
平成10年7月	1998年	改修完成	

## 藤枝側

### やってみてね

#### トンネルは上り坂??

トンネル工事では、トンネル内に水が溜まらないように上に向かって掘り進めるという工夫がされています。明治のトンネルは、両側から掘ったので、中央が高くなっています。入口からしゃがんで中を見ると上り坂になっているのがわかりますよ。

### 探してね

壁をライトで照らしてみると...レンガの色は一般的に黒い方が丈夫と言われていいます。レンガの色や積み方の違いに注目!!

これは、平成8年に裏込め工法\*やロックボルト工法\*で補強した跡です。明治の姿を残すため、目立たないようにする工夫がされています。いいものを大切にする土木技術者の心意気がカッコイイ。

### 見てね

#### アーチ構造

明治のトンネルの入口はアーチ構造。アーチは力を支えるのに効果的で、ダムや橋でも使われていますよ。最頂部にはアーチを支える要となる要石(かなめいし)がくさびとしてはめ込まれています。

### 感じてみてね

#### 明治時代へタイムスリップ!

レンガは明治時代を象徴する材料! 県内にも「釜山反射炉」をはじめ、明治時代のレンガ造りの施設が残っています。日本の経済や産業が動き出した時代、多くの人や物が行き来し、その活力は現代に引き継がれています。トンネルの中は、明治時代に造られたレンガがやさしい灯りに照らされて、当時の雰囲気そのもの。

## 用語解説

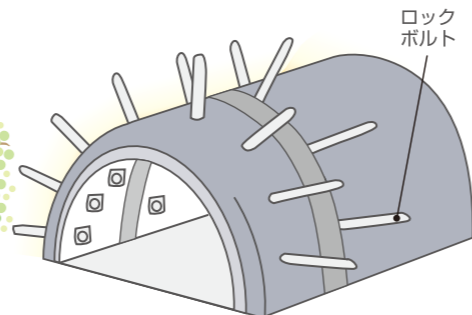
### 【裏込め工法】

隙間に材料を詰めて補強する工法。明治のトンネルは、掘った穴とレンガ壁に隙間があったため、発泡ポリウレタンを注入し補強しました。



### 【ロックボルト工法】

ロックボルトという鉄筋を地山に打ち補強する工法。1980年以降に使用されています。



明治のトンネルは、峠にひっそりとたたずんでいて、独特の雰囲気。山の影から突然現れるトンネルの風貌は、結構なインパクト。トンネルを抜ける明治の風を感じてみてくださいね。

ちょっとドキドキしながら、友達と、家族と。彼の本性を見抜くいいチャンスかも...

### 見つけてね



国の登録有形文化財の標識。藤枝側にもあるので探してみてくださいね。

静岡側  
宇津ノ谷地区